

家事ギャップ解消シンポジウムの開催結果について

「千葉県男女共同参画推進連携会議」と千葉県は、官民連携により男女共同参画や女性活躍を推進するため、ワーク・ライフ・バランスの普及促進等の取組を行っています。

令和2年2月2日には「『ONE TEAM 家族』で家事場のパパチカラ、全開!!」と題し、男性と女性の意識差が顕著な家事について、夫婦・家族間のギャップを解消するために、参加者の皆様と一緒に「家事シェア」について考えました。

☆主催 千葉県、千葉県男女共同参画推進連携会議

☆会場 千葉市生涯学習センター B1階 小ホール



第1部 講演「夫婦を最高のチームにする！～新時代の家事シェア戦略～」

講師 みき ともあり 三木 智有さん（家事シェア研究家・NPO 法人 tadaima！ 代表理事）



- 夫婦間の信頼は、貯金のように増えたり減ったりするもので、「家事シェア」は信頼を貯金するための手段としてはものすごくいい投資だと思っています。
- 家事は「タスク」であり仕事です。でも家事を「シェア」することは「共有する」という行為であり、その行為は、対話することです。

ですから、まずは共有するために対話することが、何よりも根本になるのではないかと思います。

- 「家事シェア」を上手に行うためには、「パラレル家事」がおすすめです。「〇〇をしていない方が△△をする」、つまり「ご飯を作っていない方が、トイレ掃除をする」とか「買い物に行く」とか。「私たちは一緒にやっているんだよ」というチーム感を出していくことがパラレル家事です。
- パパに家事をしてもらうには、「ほめること」と、よく言われますが、我が家では妻が僕の家事をほめることはほとんどありません。でも、妻は僕が家事をするととても喜びます。すると僕はうれしくなり、「また家事を頑張ろう」とか「またご飯を作ろう」とかそういう気持ちになります。褒めるのではなく、喜ぶことを意識してほしいと思います。褒めることは相手への評価になりますが、喜ぶことは自分の感情の表現です。だから、ぜひ自分の感情の表現をするようにしてもらいたいなと思います。

第2部 パネルディスカッション「夫婦・家族の家事ギャップを解消するために」

パネリスト むらかみ まこと 村上 誠さん（NPO 法人ファザーリング・ジャパン 代表）

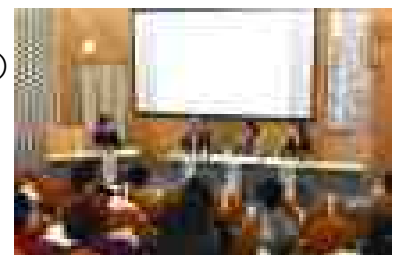
こうぞ ときこ 高祖 常子さん

（NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事）

たかはし なおこ 高橋 奈緒子さん（船橋ワーキングマザーの会 代表）

コーディネーター みき ともあり 三木 智有さん

- 家事ギャップにより起きる家庭内の弊害や、性別による固定的役割分担意識について、活発な意見交換が行われました。



千葉県男女共同参画推進連携会議シンポジウムを開催します！

千葉県では、「千葉県男女共同参画推進連携会議」を設置し、67の民間団体と官民協働で男女共同参画に関する取り組みの促進を図っています。

毎年度、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に向けた講演会やシンポジウムを開催しており、昨年度は「家事ギャップ解消」をテーマにシンポジウムを開催しました。（詳細は左のページに掲載）

今年度も男性の育児参加をテーマに、2月にシンポジウムを開催する予定です。募集は1月に入りましたら、千葉県ホームページなどでお知らせいたしますので、ぜひご参加ください！！

★ 昨年度参加者の声 ★

- ・ これから出産のため、分担の方法を考えて動いているので参考になりました。
- ・ すごく共感できるエピソードがあり、パートナーと常に対話して共有することが大事だなと思いました。



アイデア募集中!! 11/13 まで



チーバくん

千葉県

おとう飯

千葉県版おとう飯 で検索

県では、料理を作ったことがない男性でも作れる、手間をかけず簡単でおいしい料理（おとう飯^{ほん}）のレシピアイデアを募集しています。

身近な食材で、一般家庭にある調味料や道具を使ってできる料理であればOK！

詳しくは、専用サイトをご覧ください。

HP <https://chiba-otouhan.jp/>

申込方法：専用サイトのレシピ応募フォーム

問い合わせ（事務局）：株式会社オニオン新聞社

電話043-201-8811または専用サイトのお問い合わせフォーム

審査を通過した中から、人気投票（11/24～）を行い、上位入賞作品には賞品を授与！今後、料理教室や県HP等で広く活用を予定しています。

